

令和2年度 第2回山城地方 学力向上対策会議 を開催しました！

令和2年度第2回山城地方学力向上対策会議を開催し、「学力向上を目指す教育実践交流会」の運営に向けての協議や「家庭学習を充実させる取組」についての交流を行いました。

- 1 日 時 令和2年12月3日(木)午前10時から同11時30分まで
- 2 場 所 京都府田辺総合庁舎 大会議室
- 3 出席者 山城地方学力向上対策会議員 22名
- 4 概 要

「山城地方学力向上を目指す教育実践交流会」
の運営について検討・協議・確認しました



共有したこと

- ◇「山城地方の優れた実践に学び、管内の授業力向上を目指す」ことを目的に、令和3年2月8日(月)京都府総合教育センターにて開催する。
- ◇感染症拡大防止対策を講じた上で行う。
- ◇「全体会→分散会Ⅰ→分散会Ⅱ」の内容で行う。
- ◇分散会Ⅰでは、各市町(広域連合)教育委員会より推薦され「実践事例集 第29集」に実践事例を掲載する11校が実践発表を行う。
- ◇分散会Ⅱでは、小・中別に久御山町立御牧小学校・久御山中学校の授業VTRをもとに「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について交流協議を行う。
- ◇同日の午前に「第3回山城地方学力向上対策会議」を行う。

「学力向上を目指す実践事例集 第29集」の発行について確認しました

共有したこと

- ◇刊行までの大まかな日程
- ◇12月11日に原稿を締め切り、2月8日の配付に向けて、完成を目指す。

「家庭学習を充実させる取組」について交流しました

取組内容

- ◇リーフレット(YK GK)を活用して、取り組んでいる。
- ◇手引きや学びのリーフレット等を作成して取り組んでいる。
- ◇中学校ブロックで「家庭学習ノート」を作成して、取り組んでいる。
- ◇中学校の定期テスト期間に合わせてブロックで「強化週間」を設定している。
- ◇各種サイトやコンテンツを活用し、オンライン学習を進めている。
- ◇学力との相関関係の分析に取り組んでいる。

工夫している点

- ◇家庭学習が目指すものについて、各校で共有できるようイメージ図を作成している。
- ◇課題の内容を吟味している。
- ◇基礎学力の定着に課題があるので、それを補う課題を課している。
- ◇児童生徒が学び方を決めて取り組む自主学習を重視している。
- ◇「学びの調整力」をはぐくむため、PDCAを大切にしている。

意欲向上のための評価等

- ◇結果だけでなく、プロセスを評価するようにしている。
- ◇家庭学習の廊下掲示や「〇〇賞」、「〇〇グランプリ」等を設定することで励みにつなげている。
- ◇意欲向上を図るため、評価スタンプを使う等、工夫している。
- ◇頑張った時間を記録し、視覚化することで自己調整につなげている。
- ◇教師が認め、励ますことが主体的な家庭学習への第一歩である。
- ◇家庭学習で課した内容の確認テストを実施し、成果を積み上げることで意欲の向上につなげている。

家庭との連携

- ◇YK GKの提言と同じように、家庭学習量と計画性に課題がある。習慣化に向けて家庭と連携していきたい。
- ◇たより等を通じ、保護者と連携を図っている。
- ◇取り組む内容を保護者とも共有している。

成果と課題

- ◇少しずつであるが学力テスト等の結果に成果が表れ始めている。
- ◇主体的な学習を追究したいが、なかなか難しい。
- ◇自ら課題を見つけることが大切だが、なかなか難しい。まずは選択するところからスタートしている。



共有したこと

「自らの学びをマネジメントする力」は、これからの社会に生きる児童生徒にとって必要となる資質・能力である。この資質・能力をはぐくむために家庭学習を一つの手掛かりとしたい。

ゴールを見据えつつ、目の前の児童生徒に家庭学習を通じて、どんな資質・能力を身に付けさせるのかを明確にして取り組むことが大切である。



「全国学力・学習状況調査問題活用の参考資料」について確認しました



共有したこと

- ◇本年度は全国学力・学習状況調査が中止となったが、問題は各学校に送付されている。文科省もその有効活用を奨励しており、国立教育政策研究所教育課程研究センターより「全国学力・学習状況調査問題活用の参考資料」が各教委、各学校に送付された。
- ◇全国学力・学習状況調査の問題には、新学習指導要領で育成を目指す資質・能力がメッセージとして込められており、このメッセージを受け取って、学びに活かすことが大切である。
- ◇参考資料は、全国学力・学習状況調査の問題をテストとして活用するだけでなく、授業や家庭学習で活用する際の手引きとなっている。
- ◇問題と併せて、この参考資料を校内研等で活用するのも効果的であると考え
- ◇参考資料の啓発を目的として、校種別、教科別に「大切にしたいこと」や「活用のポイント」をまとめた資料を作成した。今後、広く伝えていきたい。

